

Yusuhara a Home from Home (第3部)

想定外の冬 (Winter Confusion)

梶原の冬がどんなものなのか。事前に思い描いていた冬の様子を、自分でもきちんと説明できるわけではありませんが、「こういうもの」ではなかったのは確かでしょう。数か月前こちらにやってきた時、厳しい冬の様子を聞かされたものです。曰く、住めないんじゃないかと思えるくらいの気温。とんでもない量の積雪。そうした気象の影響を受けやすいせいで、快適から程遠い生活環境。僕はイギリス生まれですから、寒さには慣れていますが、そこまでの環境となると……ちょっと経験したことはありません。防寒対策が施された建物とか、セントラルヒーティングとか、二重ガラスとか、僕にとってはおなじみのこうした設備は身近にないです。

となると、冬を快適に過ごすカギは「備えをする」ことにつきます。「冬を乗り越えるテクニック」でネット検索をかけ、作戦を練りました。手に入れたのは電気ヒーター。こたつ。ホットカーペット。それにたくさんの毛布。準備万端のつもりでした。

ところが。自分でもびっくりなんですが、こたつにもホットカーペットにも、いまだに触れてさえいません。予想していたような寒さなんて、どこにも見当たらないのです……まあ、電気ヒーターだけはかなり使っていますけど。昼間は穏やかで、けっこう過ごしやすいです。さすがに夜はそういうわけにはいかないですが、毛布を重ねれば大したことはありません。何しろ、日中の気温が二桁の日さえありましたから……。

本当にびっくりしています。でも、きっと喜ぶべき状況なんでしょうね。それにしても梶原での生活は、経験するにしても楽しむにしても、僕にとっては新しくワクワクすることばかりです。この冬だって、例外じゃありません！



12月半ばの四万十川です。川岸は思ったほど寒くありませんでした……少なくとも今のところは、ですが。

(日本語訳：町 ALT 森竹弘喜)